

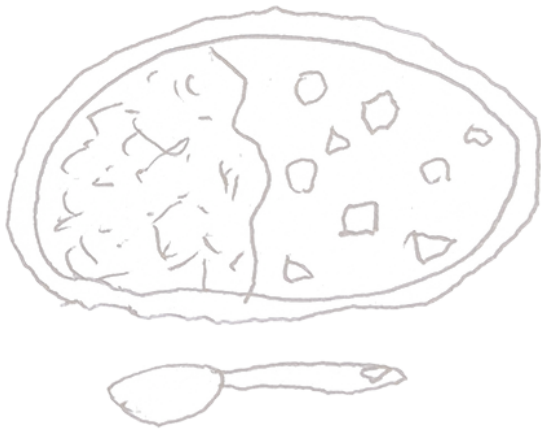


子ども FREE CAFE と 居場所学習支援活動事業 報告書 2021

令和3年度 WAM（独立行政法人 福祉医療機構）助成事業



(特非) 子どもと文化の NPO 子ども劇場西多摩



目次



事業の概略	P4-5
事業背景	P6
事業への参加者数	P7
子どもFREE CAFE事業	P8-9
子どもの居場所づくり事業	P10-15
文化体験事業	P16-17
子育て相談事業	P18-19
学習会とネットワーク事業	P20-21
記事 事業チラシ	P22-23
ネットワークの広がり	P24
全体のまとめ	P25
事業体制	P26

事業の概略

子どもFREE・CAFÉ事業

子ども(3~18歳)にランチやケーキを
1日6食限定で無料提供
K・Tホールぶらりカフェ定休日の
月(土・日曜日の臨時休業有)以外の
10時~17時に毎日実施
対象/3歳~18歳

アンケートより
参加者の声

- 味付けもちょうどよく、栄養バランスも良いランチでした。子どもがおいしいおいしいと言ってたべてくれてうれしかったです。
- 無料で食べさせて頂けてありがたかったです。お店の方も温かく子どもとあそんでくださったり、4人の子連れでも安心して楽しい時間を過ごせました。
- 子どもに合わせてキムチを抜いてくれたり、子どもの反応をみてほめてくれたり、ありがとうございました。



毎日やっちょよ!

子どもFREE CAFÉ

子どもに無料で食事を提供

『子ども FREE CAFÉ』子ども(3~18歳)にランチやケーキを1日6食限定で無料提供。K・T HALL Burari cafe 定休日の月(土・日曜日の臨時休業有)以外の10時~17時に毎日実施しています。

KT Hall Burari cafe のメニュー、召替わり情報、営業日などについてはCAFÉのページをチェック!




KT Hall GARELLY Burari cafe は、こどもから大人までが気軽に集えるコミュニティカフェ。

子どもが安心して過ごせることを目的に、FREE CAFÉの開催や食事も楽しめられる第三の居場所をつくります。つなぐまち地域コミュニティプロジェクト

子どもが安心して過ごせることを目的に、FREE CAFÉの開催や食事も楽しめられる第三の居場所をつくります。つなぐまち地域コミュニティプロジェクト

KT HALL GARELLY Burari cafe
〒110-0001 東京都千代田区千代田1-10-1 KTホール
東京都千代田区千代田3丁目76 KTホール



か〜もくの会

子どもに居場所と温かい食事を

毎週 火・木

『か〜もくの会』K・T HALL Burari cafe にて 毎週火・木曜日 17:00~19:00。それぞれの時間を大切に、学習サポートなども行います。12食限定で夕食を無料で提供。みんなで一緒に食事をします。対象/小学4年生~18歳。

子育ておしゃべりカフェ
文化芸術体験
学習会とネットワーク作り

KT HALL GARELLY Burari cafe 0426-24-0261 東京都千代田区千代田3丁目76 KTホール

子どもの居場所づくり事業 か〜もくの会

K・Tホールぶらりカフェにて
毎週火・木曜日17:00~19:00
子どもそれぞれの過ごしたい時間を大切に、学習サポートなども行います。12食限定で夕食を無料で提供。
みんなで一緒に食事をします。

- いっぱい遊べて楽しかった。
- 〇〇と(スタッフの名前)話せてよかった。
- ハンバーグ最高~
- お腹がいっぱいになった!
- 自分が好きなことをいっぱい話せた!
- 久しぶりにこんなに外であそんだ

アンケートより
参加者の声

文化体験事業 BUNKA×あそび×ワクワク

文化芸術は子どもたちに欠かすことの出来ない心の栄養です。コンサート・マジックなど様々なパフォーマンスを観ることや、体験型ワークショップを通して子ども達が文化芸術に親しむ機会を増やします！
年に6回開催

アンケートより
参加者の声

- 驚きとなつかしき、子ども達とのやりとり、テンポよく楽しめた。
- テレビで拝見していたが、間近でみれてすごかった！
- 久しぶりに粘土であそべて楽しかった。ぐちゃぐちゃパリパリが久しぶりの感覚だった。
- コロナ禍で生の音楽に触れる機会が減っていたが、べんさんの歌を聴いて心の氷が溶けていくように感じた。
- 子どもが夢中で聞いている姿に微笑んだり、心がゾーンとしたり、久しぶりに素敵なコンサートをありがとう。



子育て相談事業 おしゃべり

月1回 子育て相談

子育ての悩みや育児相談など、一人で悩まず気軽に利用・相談出来る場です。平日もしくは土曜日の午前中のお時間、参加された皆さんとグループで、もしくは個別の交流の場をつくっています。リラックスできるカフェの空間で、おしゃべりしています。



- ゆっくりお茶が飲めて、家族以外の人と話せて気分転換になりました。
- 普段きになっていることが話せて、とてもリフレッシュできました。
- 普段ママ友と交流がないので、このような機会をつくってもらえると助かります。
- 初子育てなので、先輩たちに聞ける機会があつてよかった。
- 子育ての苦労話を共有できて、楽しい時間でした。

アンケートより
参加者の声

学習会とネットワーク事業

年6回 学習会とネットワークづくり講座
社会環境や子どもたちを取り巻く状況など、講師を招き、誰でも参加出来る学習会を開催することで、地域でのネットワークをつくります

アンケートより
参加者の声

- 自分の地域での活動に生かせるものがありました。
- やりたいことをあきらめずに伝えていくこと、一緒にやる仲間をみつけること、継続していくことの大切さを感じた。
- 子どもとのかかわりで困っていることをみんなで出し合うことができ、考え合せて学びの深い時間でした。
- 高校生から子育て世代、子育てを終えた世代の方々の言葉・気持ちを伺いとても貴重な機会になりました。



子どもも大人も輝く地域を目指して
～地域の実践からたくさんのヒントを～

2022 1/30(日)
10:00-12:30 参加費無料
ネッツたまごセンター4階

対象/子どもの活動や地域活動に興味のある方 50名程度

子どもに関わる活動を地域で盛り上げている大人たちの4事例を紹介、様々な立場でどうやって活動をついてきたのかコーディネーター森本氏との対話で話を聞いていきます。どんな地域を私たちはつくりたいのか、たくさんのヒントを受け取り考えましょう！

- 【ゲストスピーカー①】
見沼 聡一 氏 (ちょうふこども実行委員会)
吉田 わかな 氏 (今井小 PTA 会長)
武藤 一由 氏 (木野下田んぼを守る会)
持田 祐一 氏 (中平自治会 / 上村あそびの広場)
- 【コーディネーター】
森本 真由子 氏 (子ども活動推進員 / コミュニティ・アート推進員)

事業背景 コロナ禍を日常に生きる子ども達

新型コロナウイルス感染症との戦いが長期化しています。収まったかに見えた感染が再拡大し、2021年も子どもを取り巻く状況は深刻でした。児童虐待件数が増加し過去最多となり、不登校件数も8年連続で増加。休校や分散登校をきっかけに不登校になった子や、ソーシャルディスタンスをとった生活の中で人間関係が希薄になり、「人とのコミュニケーションが怖くなった」と学校に通えなくなった子もいます。体力テストの結果では特に持久力の低下がみられ、これもコロナの影響が大きいといわれています。経済的に厳しい状況の家庭も増え、中退する学生やヤングケアラーの増加も社会問題となっています。行政の活動や、地域活動などは、2021年度も中止が相次いでいました。私たち特定非営利活動法人子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩はコロナ感染症対策を取りながら、活動をなくさぬよう模索してきました。

本事業を通じて、子どもの食事支援・居場所づくり・文化体験や学習の場の開催を行ってきましたが、長引く、先の見えないステイホームに、心も体も限界を感じていて、体験することや表現することが人間にとって必要な活動なのだと、参加者の姿を見ていて再確認しました。

新型コロナウイルスの影響が、いつまで続くのかはわかりません。行政や地域の団体が行う子ども対象の活動が今後増えていくのかの見通しもつかない現状です。学校現場は、学力優先のため、行事の大切さを知りながらも行事が増えることはないと思われます。このような状況の中、当団体はこれからも人が育つために何が必要かを丁寧に考え合いながら、子どもや社会のために活動をつくり続けていきたいと思っています。

コロナ禍の子ども達の日常に寄り添い、歩んできました2021年度の活動を中心に、当事業に取り組んだ3年間のまとめをしております。お読み頂ければ幸いです。

事業への参加者数

子どもFREE・CAFÉ事業

2019年度 1295名(全253回)
2020年度 636名(全183回)
2021年度 1131名(全261回)
アンケート満足度100%

子どもの居場所づくり事業かーもくの会

2019年度 780名(全96回)
2020年度 988名(全96回)
2021年度 1056名(全95回)
アンケート満足度99%

子育て相談事業 おしゃべりカフェ

2019年度 26名(全10回)
2020年度 46名(全10回)
2021年度 48名(全12回)
アンケート満足度100%

文化体験事業BUNKA×あそび×ワクワク

2019年度 139名(全6回)
2020年度 202名(全6回)
2021年度 178名(全6回)
アンケート満足度97%

学習会とネットワーク事業

2019年度 89名(全3回)
2020年度 126名(全5回)
2021年度 151名(全6回)
アンケート満足度99%

2021全体の合計人数

2,564名

3年間の全体の合計人数

6,891名

子どもFREE・CAFÉ事業

はじめに

新型コロナウイルス感染症拡大もあり、スタッフの確保が難しく、前年度まで日曜日をお休みとしていましたが、子どもたちが昼間も来られる日曜日もぜひ開けようと、4月から日曜日の営業を再開しました。

また、チラシをリニューアルし、かーもくとFREECAFÉの両面刷りのチラシを近隣の小中学校や保育園などにチラシを配布しました。

そして、団体や個人の方から子どもたちのために使って欲しいと、お米などの食材をいただけることが増え、3年目になり地域にこの事業が根差してきたと感じました。

よく利用してくれる子が「かーもくの会」や「森もりあそぶ」(当団体で行っているプレーパーク事業)などに参加し、子ども達へ「食」だけでなく、「居場所」や「遊び場」を提供することができました。

年齢別のフリーカフェの様子

幼児連れの親子

幼児連れ親子の利用はランチが中心となりました。毎週のように土日に利用してくれる親子3人組(母・娘・息子)。カフェのスタッフや地域の方ともかかわりが増え、店内でお喋りする様子がどんどん増えていきました。手作り料理が好評で親御さんから「安心して食べられます」との声が多く寄せられました。

高校生

長期休みやテスト期間中などの利用が増える年代です。端の席に座り、イヤホンをつけて黙々と勉強したり、お友達と互いに勉強を教え合ったりする姿がよく見られました。「大学に合格したよ」「就職が〇〇に決まったよ」とスタッフに教えに来てくれる子ども達もいて、門出をお祝いできることに、とても嬉しくなりました。

小中学生

宿題をもくもくとやる子、カフェに置いてあるゲームで遊ぶ子、不登校の子ども達の昼食利用など、1番多くの用途で使われた年代でした。特に兄弟の多い家庭の子どもが30分ほどかけて歩いてくることもよくあり、地域ごとに子どもの居場所があったらいいな。と思うできごとでした。青梅市には児童館がなく、最近図書館の分室も数館閉まってしまったため、子どもが放課後に安心して過ごせる場所があることは、とても重要だと考えています。

また春休みにはカフェのお手伝いを進んでしてくれる小学6年生の女の子が毎日のように来てくれ、スタッフも大助かり。小さな店員さんにお客さんの表情も思わず和らぎます。

フリーカフェ月別利用者数

2021年

4月／46名

5月／75名

6月／62名

7月／165名

8月／81名

9月／80名

10月／80名

11月／155名

12月／134名

2022年

1月／84名

2月／73名

3月／96名

合計1,131名



今後に向けて

WAMの助成金が2021年度で終了したため、これからは自走をしていくこととなります。現在、地元農家さんにご協力頂いて、規格外野菜を店頭で販売し、その売上全額を子ども食堂に寄付して頂いたり、地元写真家の方の写真集を店内で販売し、売り上げを全

額寄付して頂くなど、多くの方にご協力頂いています。また、市の子ども食堂助成金の受託をするなど、さまざまな助成金を検討し、これからも続けていけるよう工夫していきたいと思っております。

子どもの居場所づくり事業かーもくの会



WAMの助成金を受けて実施するかーもくの会は今年が3年間の最後の一年となりました。参加する子どもは小4から高校生まで。毎週火曜日と木曜日の17時～19時にKTホールぶらりカフェで遊び、おしゃべりなど自由に過ごせるような居場所づくりと異年齢交流の場、食事支援を行いました。スタッフは毎回5名で担当しました。

今年度は95回の実施、参加者は延べ1056名、平均して毎回11名の参加でした。食事は、火曜はまんまる亭さん、木

曜日はまんまる亭さんから紹介の伊藤さんに依頼し、届けてもらいました。どちらも、家庭的で栄養のバランスのとれた温かい料理で、子どもたちも毎回楽しみにしていました。また昨年度に引き続き青梅フードバンクさんからの食材の提供もあり、缶詰やフルーツ等子どもたちが喜んで食べました。

今年度はスタッフから出た「かーもくの会でやりたいこと」をイベントとして実施しました。チーム戦のゲーム大会、おしゃべり会で自分が好きなものを紹介、「とびだせ!かーもく～風の子太陽の子編～」(外遊びの会)、「プチ遠足」(KTホールぶらりカフェからネッツたまぐーセンターまで



クイズを解きながら約1.2km歩く)と、4つのイベントを行いました。どれもスタッフの創意工夫が見られ、かーもくの会らしく温かく楽しいイベントができました。七夕、ハロウィン、クリスマスなど、季節の行事に合わせた工作なども行いました。

学習会も行い、子どもの居場所をつくるスタッフとして大切にしたいことや、発達障害を持つ子どもの特性について学び、スタッフが抱えている悩みや難しいと思っていることなどを出し合い、みんなで考え合いました。

3年目を迎えたかーもくの会は、落ち着いたのんびりした雰囲気の中で子どもが安心

してられ、また、さまざまな年齢のいろいろな人や文化体験と出会う場がくれたのではないかと思います。

次年度はWAMの助成期間が終了となりますが、子どもたちに求められている場であること、子どもたちがさまざまな人や文化と出会う場所を作っていく大切さを感じ、市の助成や個人からの寄付を受けながら週一回の実施で継続していくことになりました。

今までの学習会で学んだ知識や3年間かーもくの会を作り続けてきた経験を活かし、これからも地域の中で活動を続けていきたいと思っています。

か～もくの会の流れ



16:45 スタッフ集合

前回からの引継ぎ、申し送り事項を共有する。担当を決める(受付・写真撮影・食事の配膳など)麦茶作り、のぼり旗を立てるなどの準備

17:00 受付

名札を首からかけ、名前を知らない子どもでも呼び合えるように工夫しました。



各自自由に過ごします。主にボードゲーム、おしゃべり、宿題、テスト勉強など



18:10 食事の準備

テーブルセット。テーブルを拭いたり、麦茶を注いだり、子どもたちと協力しながら。今年度はスタッフが配膳。

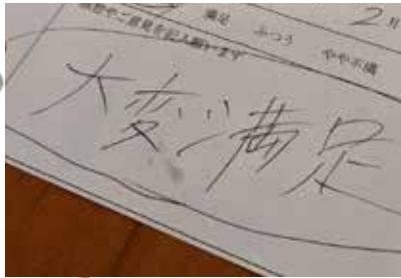


18:20 食事

携帯電話の使用は食事中はNGとし、おしゃべりを楽しみながら食べるようにしました。

18:45 ごちそうさま、片付け

洗い物を運ぶ、テーブルと椅子を元に戻すなど子どもたちと協力して行いました。



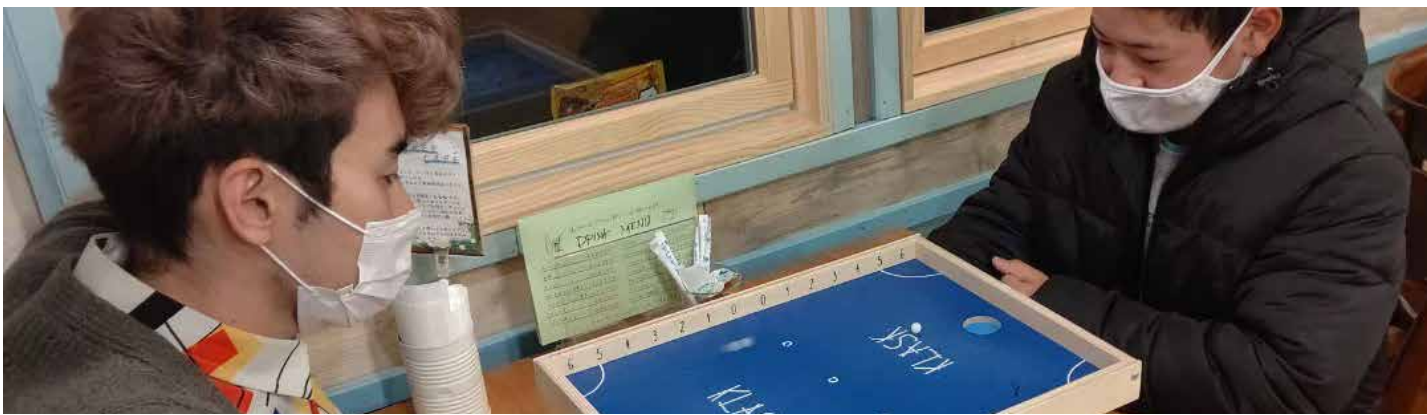
18:55 カード記入

参加者の名前、感想を毎回記入してもらいました。



19:00 終了 各自自宅

スタッフで振り返り。子どもたちの様子を共有し、次回への引継ぎなども記録表に記入。





今年度はスタッフから出た「かーもくの会でやりたいこと」をイベントとして実施

2021年6月25日(金)KTホールぶらりカフェ

チーム戦のゲーム大会、おしゃべり会で自分が好きなものを紹介



2021年8月19日(金)KTホールぶらりカフェ
「ボードゲーム大会」

チームに分かれてスタッフ特製「大神経衰弱」で遊びました。チーム戦ということで、「ドンマイ!」「いいよいいよ!」とお互いに協力したり励ましたりする姿がみられました。参加賞のお菓子もあり、うれしい楽しい時間になりました。



2021年9月23日(祝)風の子太陽の子広場
「とびだせ!か〜もくの会〜風の子太陽の子編〜」

小学生7名、中学生3名、高校生5名とスタッフ7名、総勢22名で、広場で思い切り体を動かして遊びました。まずはお昼にみんなでお弁当を食べてから、スタッフの創意工夫をこらしたゲーム(色水をかけあって戦うあそび)は大人も子どもももびしょ濡れになって大盛り上がりでした。子どもたちから「久しぶりにこんな風に外で遊んだ!」という子が聞かれ、やってよかった。大成功!



2021年11月23日(木祝)

「プチ遠足」(KTホールぶらりカフェからネッツたまぐーセンターまで)

KTホールぶらりカフェに集合し、チームに分かれて謎解きをしながら歩き、正解がわかったら、ゴールを教えてもらい、ゴールのたまぐーセンターでみんなで昼ごはんを食べました。スタッフが考えたクイズは、久保ラジオ商会さんのバイクに書いてある鳥は?など、町を歩いたり聞いたりしないと分からないような内容で、大人も子どもも楽しめるクイズでした。お天気にも恵まれ、最高の日でした。

文化体験事業 BUNKA×あそび×ワクワク



1 2021年6月15日 「土偶をつくろう」 KTホールぶらりカフェ



かーもくの会とのコラボ企画
小4～大人 12名参加
講師:持田晃子氏

“願いをこめた石”を粘土の中に入れ、自分の土偶を作りました。どんどん変化していく粘土が思い通りにならなかったり、ならなかったり、でも楽しい。完成した土偶を披露する時に願いを教えてください、くれなかったり、でもワクワク。自分と向き合い、他者を知ろうとする、とても貴重な体験でした。

2

2021年7月11日 「こまのたけちゃんとうぼう！」 ネッツたまぐーセンター



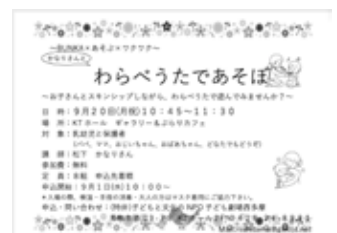
幼児～大人 45名参加
こまのたけちゃん

フェイスガードの上でこまを回す妙技も、「アンコール」を「アルコール」とジェスチャーしながらの言い換えも、今ならではの! 言葉の掛け合いは生のステージの良さであり、観客が求めていたことでした。大人も子どももリラックスして楽しむことが出来ました。



3

2021年9月20日 「わらべうたであそぼ」 KTホールぶらりカフェ



乳幼児 5組の親子(13名)参加
講師:松下かなり氏

手遊びや、わらべうたも今年度で3回目、かなりさん引き出しの多さ、そこに参加している子ども達への対応力に、子ども達も親御さんも、のびのびと楽しんでいました。



4

2021年10月23日
「とびだせ絵本」
大門市民センター

0・1・2・3歳
6組の親子参加
講師：中市真帆氏



プレイアドバイザーでもある中市真帆さんの読み聞かせ。温かく流れるような時間に、子ども達は安心して、のびのびと過ごし、いつの間にかお母さん達の表情も、まとっている空気も穏やかになっていました。会場にいたみんなが、言葉には出来ないあたたかいものをたくさん受け取りました。

5

2021年12月23日
「木の実は工作 クリスマス飾り」
KTホールぶらりカフェ

かーもくの会とのコラボ企画
小4～大人 16名参加
講師：持田晃子氏



木の実はパイキングとばかりに、様々な木の実は作るクリスマス飾り。かーもくの仲間とやるからなのか、周りの個性も見守りつつ、楽しみつつ、自分も楽しむ。自由にやっているようで、他者を思いあつて作るという光景が見えました。(材料の独り占め等がない)継続的に行っているかーもくの会とのコラボ企画は、いつも一緒に遊ぶ相手の違う一面を知るような、大事な時間でした。



6

2022年2月12日
「こんな時こそ歌の力で！」
ネッツたまぐーセンター

全年齢コンサート 75名参加
たかはしべん



べんさんの言葉はシンプルで、リズムがあり、思わずクスッと笑ってしまったり、心に染みてグッときたり、温かなコンサートでした。コロナ禍での“こんな時だから歌の力”ということを実感した日でした。

子育て相談事業 おしゃべりカフェ



参加者もスタッフも出会いの場になり、その中で子育ての悩みや相談を安心して出せる場にしていきたい！そんな思いで始めた子育ておしゃべりカフェの3年目。今年は4月から毎月一回ずつ行い、曜日も場所も工夫しながら行ってきました。

4月の緊急事態宣言直前だったこともあり、祝日の日にKTホール近くの公園で遊びながら、交流をしたり、11月には日曜日の午前中に青梅市文化交流センターの和室に絵本やおもちゃを用意して交流の場を設けてみるなど、開催場所・曜日など変化させながらより人が来やすい、子連れでも交流しやすい状況を探りました。

今年度は年度の初めに来てくださった方がリピーターとなって来てくださり、中盤からは初めての方に声をかけてくれるなど、スタッフだけではなく、参加者みんな

でその場を作っていく雰囲気も生まれました。

コロナ禍での子育ても2年目に入りましたが、コロナ禍での出産の大変さも話題になりました。入院中に誰もお見舞いに来れない、出産後も家族すら面会に気軽に来れない、入院中にママ友が作りづらい。不安と手探りの中での子育ての開始の時期に、今まで以上のストレスがかかるそんな環境が妊娠期間から出産までの間の生活にも大きな影響があることを改めて感じさせられました。

コロナ禍での生活が続いていて、まだまだ人の集まる場所に行くこと自体気が引ける、という方もいました。そういう中でも「人とは関わりたい！交流したい！」「子どもと二人っきりで家にこもっているのはつらい！」「温かい飲み物をゆっくり飲みながら人とおしゃべりする時間は久しぶり！ありがたい」という声もありました。



またコロナ禍で日ごろ保育園や幼稚園、小学校に通っていても「行事やイベントが何もない中で保護者同士のつながりができない」、「連絡先も保護者の顔もわからないから、遊ぶ約束もできない!」などの声もたくさん出ていました。

幼児、小学生の母親の参加が多く、初参加の方が次にお友達を誘って参加してくれたり、こんな時だからこそ、こういう「人とのつながりが作れる活動は大事!」という思いを参加者の方の声から感じました。

コロナ禍での生活ではありますが、やはり「人は人を求め、会話し、笑いあう、そんな時間が大切で、求めているものだ」と今年の取り組みからもまた改めて感じました。

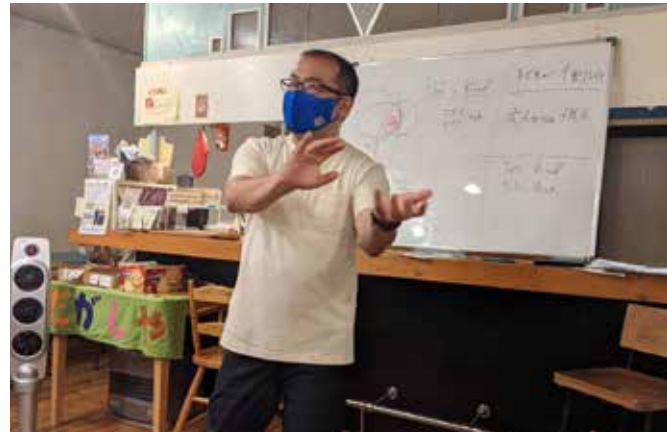
学習会とネットワーク事業

文化講座は地域のネットワークの充実とスタッフの研修目的で開催しました。

1 2021年6月25日(金)KTホールぶらりカフェ 『子どもの居場所をつくるスタッフのチームづくり』 神山千歳氏

かーもくの会スタッフを中心に、自分たちがついている場を改めて見つめなおし、言葉にしました。スタッフとして何を大切にすべきかも話し合いました。

15名参加



2 2021年7月18日(日)ネッツたまぐーセンター 『子どもを見守るって?!』 森本真也子氏、持田晃子氏、神山千歳氏

本事業に関わるスタッフ・青梅の子育てに関わるNPO法人の連絡会からも参加があり、子どもと大人と一緒に楽しむ空間をどのようにつくっていくか、子ども達への眼差しも含めて学びあいました。

45名参加



3 2021年11月12日(金)KTホールぶらりカフェ 『日暮先生に聞いてみよう ～関わりが難しいと感じる子どもの理解～』 日暮かをる氏

特別支援学級で長く教員をされていた講師から、発達障害を持つ子ども達が具体的にどのような体感を持っているのか、具体的な事例をお聞きしながら学びました。全体を通じて若いスタッフが多く参加でき、学ぶことで発見があったり、力になることを実感する感想が出されました

11名参加

子どもFREE・CAFEと居場所支援活動事業

日暮先生に聞いてみよう
～関わりが難しいと感じる子どもの理解～

関わりが難しいと感じる子どもと出会った時、その子どもをどのように理解し、どんなアプローチをしていったらよいでしょうか。みんなが関心のある場所についていために、どのような工夫があるのでしょうか。元特別支援学級教員の日暮かさん先生にお話しを伺い、参加者の皆さんと考えます。

日時：2021年11月12日(金) 19:00～21:00
場所：KTホール ギャラリーぶらりカフェ
講師：日暮かをるさん (元特別支援学級教員)
対象：18歳以上
参加費：無料
定員：20人 申込先着順 10/21(水)10:00～申込開始

申し込み問い合わせ
(特約)子ども文化のNPO 子ども劇場民多座
青梅町南3-7-8 KT 8-4 2F 0428-24-8981
Mail:nishitam@gekijo.net

パネルディスカッション
舞台芸術って
舞台芸術の魅力

2022 3/6(日)

ネッツたまぐーセンター多目的ホール 青梅町南3-7-8
対象：子ども劇場民多座のメンバー 10名程度
申込先着順にて1名ずつ
なやみ劇場の子ども劇場に所属して欲しいと思う方、アーツ・エス・エスの活動から、また他種で舞台芸術に興味がある方、5月までの公演を伺いながら、その魅力について

2021年11月
中野 高純氏
日暮かをる氏
高橋 心也(心也)氏
高橋 心也(心也)氏
高橋 心也(心也)氏
高橋 心也(心也)氏

高橋 心也(心也)氏
(特約)子ども劇場民多座のメンバー 10名程度

4

2022年1月30日(日) ネットたまぐーセンター

『子どもも大人も輝く地域を目指して～地域の実践からたくさんのヒントを～』

吉田わかな氏(今井小PTA)

武藤一由氏(木野下田んぼを愛する会)

持田祐一氏(自知中平自治会/上村あそびの広場)

コーディネーター 森本真也子氏



子どもも大人も輝く地域を目指して
～地域の実践からたくさんのヒントを～

2022 1/30(日)
10:00-12:30 参加費無料
ネットたまぐーセンター 4階

対象/子どもの活動や地域活動に興味のある方 50名程度

子どもに関わる活動を地域で盛り上げている大人たちの4事例を紹介。様々な立場でどうやって活動をつくってきたのか?コーディネーター森本真の進行でお話を聞いていきます。どんな地域を私たちがつくりたいのか、たくさんのヒントを受け取り考えましょう!

【ゲストスピーカー】
吉田 わかな氏(今井小PTA会長)
武藤 一由氏(木野下田んぼを愛する会)
持田 祐一氏(自知中平自治会/上村あそびの広場)
他(ちょうふこども課実行委員会よりご参加)
【コーディネーター】
森本真也子氏(子ども課情報連携 コミュニティファクトリー)

お問い合わせ: 024-252-1111 (受付時間: 10:00-17:00) 会場: ネットたまぐーセンター 4階

地域の様々な実践を3人のゲストスピーカーからお話しを頂きました。“子どもも大人も輝く地域”をどうつくっていくのか。たくさんのヒントを見つけることができました。又 小学校PTAや他NPOの参加もあり、ネットワークづくりの1つになりました。

35名参加



5

2022年2月22日(金)KTホールぶらりカフェ

『中高生との関わりを一緒に考えよう』

森本真也子氏

育つってどういう事だろう?というところからみんなで考え合い、それぞれが持つ悩みや質問について、活発に意見を交わしていました。子どもと関わるいろいろな面で悩みを持つスタッフも本音で話すことができ、前向きな気持ちをもてる勉強会になりました。

11名参加



6

2022年3月6日(日) ネットたまぐーセンター

パネルディスカッション

『舞台芸術って何!?舞台芸術の魅力とは?』

パネリスト

中市真帆氏、智春(CHEEKY!!!)氏、川野 薫氏

コーディネーター 森本真也子氏

舞台芸術って何?なぜ地域の子ども達に体験して欲しいと思うのでしょうか?という問いに、アーティスト、地域で子どもの活動を企画する立場からお話頂きました。舞台芸術には観客と演じる側が空間を共有できる良さやそこから生まれるものがあること。観る人によって受け取り方が違って、正解がないこと。プロのアーティストだけでなく、身近な人が演じる姿にも魅力があること。様々な視点が語られました。

35名参加



2021年4月29日(木)西の風新聞掲載

青梅市

子どもに居場所と温かい食事を 子ども劇場西多摩がフリーカフェ



夕食の一例

責任者の岩田恵さん(右)は「子どもが自然でいられたらいい、温かい場所を作りたい」と話す。同NPO

K・Tホールギャラリーふらりカフェ(青梅市勝沼)では毎週火曜と木曜の17時〜19時、小学4年生〜18歳の子どもに居場所と夕食を12食限定で提供する「かきもくの日」を実施している。NPO法人子ども劇場西多摩(林田佳里事務局長)が独立行政法人福祉医療機構「WAM」の助成を受け、2019年から実施。5人のボランティアが企画した。

スタッフが常駐し、17時から子どもの意思を尊重してカードゲームや学習サポートをする。18時からまんまる亭(同市大門)提供の夕食を一緒に食べる。料金は無料だが、2回目以降は保護者の署名登録が必要。家庭の経済的な負担を少なくして、多様な人と知り合う、出会う機会を作ることが目的で、川崎由保前事務局



責任者の岩田さん(中央)、ボランティアの穴戸さん、長井さん、奥田さん、川野さん(左から)

はこのほか3歳〜18歳の子どもを対象にランチやケーキを6食限定で無料提供するフリーカフェを定休日の月曜、イベント予定の日曜、祝日を除き毎日実施。詳細はK・TホールのFacebookで、問い合わせは0428(24)8981まで。(藤野)

2021年4月30日(金)西多摩新聞掲載

青梅のK・Tホールふらりカフェで 子ども劇場西多摩

子どもにランチを無料提供

特定非営利活動法人「子どもと文化のNPO」子ども劇場西多摩(小林裕子理事長)が運営する青梅市勝沼のコミュニティカフェ「K・Tホールギャラリーふらりカフェ」は、子どもに無料でランチを提供する「子どもFREE CAFE」を実施。3歳〜18歳までを対象に定休日の月曜日以外毎日、一日6食限定でランチやケーキを無料提供している。同NPOは2019

年度から独立行政法人福祉医療機構(WAM)の助成を受けて「子どもFREE CAFE」は午前10時から午後5時まで、入り口のスフィンを持って入ると利用できる。ランチ(午前11時30分から)またはケーキ、飲み物の事業を実施して

り、今年度も助成の対応事業に認定された。「子どもFREE CAFE」は午前10時から午後5時まで、入り口のスフィンを持って入ると利用できる。ランチ(午前11時30分から)またはケーキ、飲み物の事業を実施して

小学3年生以下は保護者の同伴が必要。事業責任者の村上さん(45)は「小・中学生の異年齢が交流し、チームのような関係が特徴。手作りでおいしい食事の魅力です」と話し「イベントなども開催しているのだから参加してもらえたら」と話している。初回は予約不要(22時から保護者の署名登録が必要)。同カフェはJR東青梅駅から徒歩7分。旧青梅街道沿い。月曜定休(GW期間中など臨時休業あり)。問い合わせは子ども劇場西多摩(0428・24・8981)へ。



事業を担当する村上さん(左から3人目ら

毎日やっちゃおう!

子ども FREE CAFE

子どもに無料で食事を提供

『子ども FREE CAFE』子ども(3~18歳)にランチやケーキを1日6食限定で無料提供。
K-T HALL Burari cafe 定休日の月(土曜日の臨時休業有)以外の10時~17時に毎日実施しています。

KT Hall Burari cafe のメニュー、お替りや焼酎、定食などについては下記ホームページをご覧ください!

KT Hall GARELLY Burari cafe は、子どもから大人までが気軽に集えるコミュニティカフェ。

子どもが安心して利用できることを目的に、FREE CAFEの開催中も立ち回り職員ももちろん笑顔の対応を心がけています。

KT HALL GARELLY Burari cafe
〒115-0045 東京都葛飾区新小岩 0-28-26-3981
東京都葛飾区新小岩3丁目79K7ホール

子どもに居場所と温かい食事を

か〜もくの会

毎週 火木

『か〜もくの会』K-T HALL Burari cafe にて 毎週火・木曜日 17:00~19:00。それぞれの時間を大切に、学習サポートなども行います。12食限定で夕食を無料で提供。みんなで一緒に食事をします。対象/小学4年生~18歳。

子育ておしゃべりカフェ 文化芸術体験 学習会とネットワーキング

1月1日 子育て勉強会
2月1日 子育て勉強会
3月1日 子育て勉強会
4月1日 子育て勉強会
5月1日 子育て勉強会
6月1日 子育て勉強会
7月1日 子育て勉強会
8月1日 子育て勉強会
9月1日 子育て勉強会
10月1日 子育て勉強会
11月1日 子育て勉強会
12月1日 子育て勉強会

K-T HALL GARELLY Burari cafe | 東京都葛飾区新小岩3丁目79番7号 | TEL:03-5622-2639

子どもを見守るって?!

2021/7/18(日) 10:00-12:00 参加無料
あづたまきセンター
東京都葛飾区新小岩

子どもが安心して利用できることを目的に、FREE CAFEの開催中も立ち回り職員ももちろん笑顔の対応を心がけています。

あづたまきセンター
東京都葛飾区新小岩3丁目79番7号

子どもも大人も輝く地域を目指して
~地域の実践からたくさんのヒントを~

2022/1/30(日) 10:00-12:30 参加無料
あづたまきセンター4階
東京都葛飾区新小岩

あづたまきセンター
東京都葛飾区新小岩3丁目79番7号

パネルディスカッション
舞台芸術って何!?
舞台芸術の魅力とは?

2022/3/6(日) 参加費無料 13:30-15:30
あづたまきセンター4階
東京都葛飾区新小岩

あづたまきセンター
東京都葛飾区新小岩3丁目79番7号

子どもFREE-CAFE開催実施要項

日暮先生に聞いてみよう
~関わりが楽しいと感じる子どもの理解~

日時:2021年11月2日(金) 19:00~21:00
場所:KTホール セラリールびらりカフェ
講師:日暮 かさるさん (精神科医)

対象:18歳以上
参加費:無料
定員:20人

あづたまきセンター
東京都葛飾区新小岩3丁目79番7号

つくろろろ
土偶を
6/15(土)

あづたまきセンター
東京都葛飾区新小岩3丁目79番7号

7/11
こまのたけちゃん
あそぼう!
7/11(日) 10:00-12:00 参加無料
あづたまきセンター
東京都葛飾区新小岩3丁目79番7号

わらべうたであそぼう

9/20(日) 10:00-11:30
あづたまきセンター
東京都葛飾区新小岩3丁目79番7号

子育ておしゃべり
子育てCAFE

3/31 10:00-12:00(木)

あづたまきセンター
東京都葛飾区新小岩3丁目79番7号

とびだせ絵本
10/23(日)

あづたまきセンター
東京都葛飾区新小岩3丁目79番7号

木の実の工作
クリスマス飾り
12/23(木) 17:00-18:30 参加無料
あづたまきセンター
東京都葛飾区新小岩3丁目79番7号

こんな聞こえかたで!
2/12(日) 10:00-12:00 参加無料
あづたまきセンター
東京都葛飾区新小岩3丁目79番7号

ネットワークの広がり

【2019年度事業終了時の実績】

- 1) 青梅のフードバンクに登録し食材を提供して頂けるようになる
- 2) 個人の方から食材・飲み物を提供して頂いた
- 3) 地域新聞2社(西の風新聞社・西多摩新聞社)に取り上げて頂き周知につながった
- 4) 子ども食堂連絡会に参加してネットワーク構築につながった(4団体)
- 5) 青梅子ども未来(NPO法人)と講座を共催できた
- 6) 青梅市第4小学校の6年生の「青梅のまちを紹介」授業に協力して学校とのつながりができた。
- 7) 青梅市第四小学校の教員と子どもたちについて教員と意見交換する時間がつくれた
- 8) 講座の講師と出会うことで分野の違うひとたちが出会い知識や人間関係の広がりにつながった
- 9) 保護者へのアンケートで子どもたちの家庭での様子などわかり多角的にかかわる材料をもらえた。

【2020年度事業終了時の実績】

- 1) コロナ禍ではあったが感染予防対策をこじながら6月より事業を実施できた
- 2) 青梅市内子ども関連NPO4団体と講座を共催することができ、それぞれの団体の状況を深く知ることができた。また、今後の活動や街づくりに関するネットワークの構築となった
- 3) 感染予防をこじながら、日常活動の課題をテーマに学習会の取り組みを行った

【2021年度事業終了時の実績】

- 1) 次年度の事業終了後の継続に向けて、寄付を募る取り組みが広がり、青梅市内で有機農業をされているやながわファームさんより野菜の提供を受けた。また自身が出版した写真集の売上を全額来年度の継続への寄付にまわすということで、写真集を提供してくれた高山真二さん等、新しいネットワークができた。
- 2) フードパントリー青梅の取組と連携し、生活に困っている家庭へ食べ物をお渡しする場所として、フリーカフェが担当した。
- 3) 行政へ事業終了後の継続について相談をし、フリーカフェとかーもくの会を1つずつの事業として、2022年度より都の助成が受けられるようになった。
- 4) 学習会を通じて、身近な場所(小学校区)での子どもの活動を広げる地域の団体のネットワークが広がった。
- 5) 行政の子育て支援の相談担当者から連絡があり、当事業を利用する困難な状況を抱える子ども達について情報共有する場を持つことになり、それぞれの立場で子どもを支え合う関係を築くことができた。



3年間を振り返って

2019年度～2021年の3年間、社会が大きく変わる時期と重なって本事業は行われました。

本事業がもたらした効果として、大きく3つのポイントがあると思います。

一つ目は、子どもの貧困による格差・様々な体験に出会う機会の格差にかかわらず、無料で食事をとることができ、文化体験を通じて普段なら会うことのないアーティストと出会い、鑑賞や体験する機会を提供できたことです。すべての事業で年間のべ380回のお場をつくることができたことは非常に大きな成果であったと思います。

二つ目に、地域の若者が事業のスタッフとして関わることにより、子どもと関わること・今の子ども達が置かれている状況に理解を深め、人材育成につながったことです。若者が自分のまちでの活動にその意義を理解し関わることは、今後の事業継続においても非常に希望のもてるものとなりました。

三つ目に、本事業を3年間行うことによって、子どもに対して食事や様々な体験を提供できる地域の社会資源として、当団体及びその取り組みの認知が広がったことです。認知と同時にネットワークも広がり、行政・個人・団体それぞれの立場から、子どもへの支援・事業継続への支援にとつながりました。

当法人の一番の強みは、子どもの文化権の保障・子どもの権利条約31条(休息・余暇の権利、遊び・レクリエーションの権利、文化的生活・芸術への参加の権利)を保障するNPO法人として、子ども達の育ちに関わり、大人も地域で一緒に生きていく存在として、子どもと共に歩む姿勢で様々な事業を展開していることです。本事業を3年間行う中で、その活動はより幅をもたすものとなりました。今後も事業の継続をしながら、地域の子どもの今に寄り添った活動を展開することを目指していきます。



2021年度 子どもFREE・CAFÉと居場所学習支援活動事業体制

運営責任 理事長／小林 裕子
副理事長／檀野 尚美 岩田 恵 片谷 茜
専務理事／林 由佳里

全体統括／林由佳里

<子どもFREE・CAFÉ事業>

責任者／村上 ひかり

スタッフ／片谷 洋夫 穴戸 明日香 小林 真尋 横田 阿津子 檀野 尚美
蒲生 真規子 川崎 由保 森本 真也子 梅垣 相子 田中 綾子
島田 妃登美 荒井 葉子 村上 由起子 長井 陽奈 村越 啓子 岩田 恵
他ボランティアスタッフ17名

<子どもの居場所づくり事業 かーもくの会>

責任者／岩田 恵

運営スタッフ／村上 ひかり 穴戸 明日香 鈴木 禄三 長井 夕奈 檀野 尚美
スタッフ／福島 海斗 川野 薫 横田 泰人 津村 冬子 山田 颯輝 山田 美木
小野村 歩 小林 真尋 島田 彩 村越 啓子

<子育ておしゃべりカフェ>

責任者／小林 裕子 スタッフ／田中 淑美 林 由佳里

<文化体験事業 BUNKA×あそび×ワクワク>

責任者／檀野 尚美

スタッフ／石川 千寿 川野 薫 林 由佳里 沼倉 智弓 藤田 佳孝

<学習会とネットワーク事業>

責任者／林由佳里

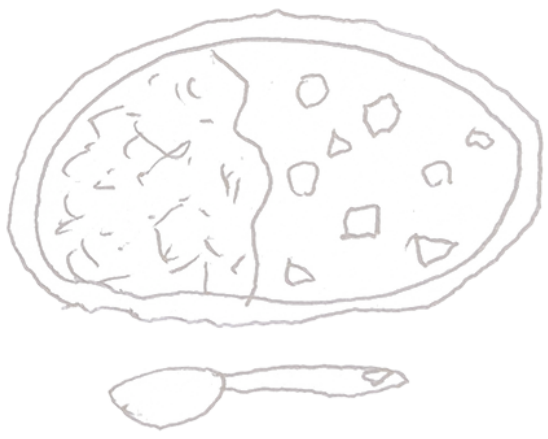
スタッフ／小林 裕子 檀野 尚美 片谷 茜
岩田 恵 沼倉 智弓 村上 ひかり 藤田 佳孝

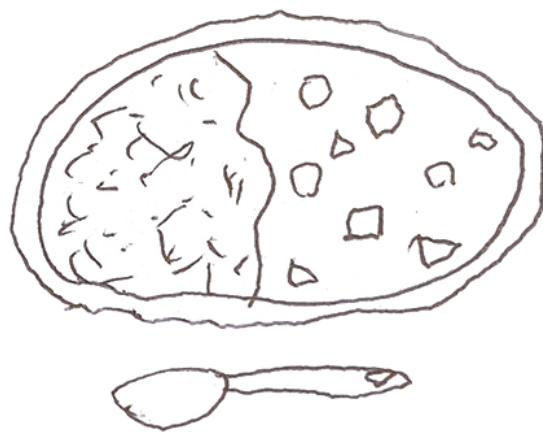
■チラシデザイン・報告書編集／沼倉 智弓

■報告書編集責任者／林 由佳里

■会計／村上 ひかり







(特非)子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩
東京都青梅市勝沼3-78 KTホールぶらりカフェ2F
TEL.0428-24-8981 nishitama@gekijo.net

